

## 大学入試センター試験 の多肢選択式

◎評価の対象となるのは、問題文を読んで  
選択肢の中から正しい答えを選択する力

選択肢 ①   選択肢 ②   選択肢 ③   選択肢 ④   選択肢 ⑤



選択肢 ①

を選択

例えば、設問で一定の条件を設定した上で、それを踏まえて、結論や結論に至るプロセスを解答させることが必要

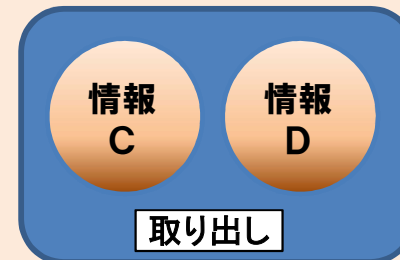
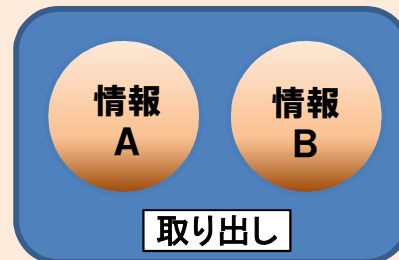
## 「大学入学希望者学力評価テスト(仮称)」 の条件付記述式

◎評価の対象としたいのは、単に答えを出す力ではなく、  
下記□囲みで示すような思考・判断・表現のプロセスで  
必要となる具体的な力

※発想としては、例えば、 $2+3=\square$  ではなく、 $5=\triangle+\circ$  を求めることや、一定の条件の下で  $1+\square=\triangle$  という式を考えることなど

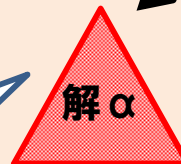
[問題文にある情報]

[他の情報]



統合

比較、関連付け、推論、仮説形成、吟味  
…等の思考・判断プロセスを経て



を構成し、表現